



● 広報

おぐに

1

2016
NO. 735

EXPO Milano 2015 日本館
Feeding the Planet, Energy for Life

ミラノ国際博覧会

～6次産業化に向けた新たな事業展開と人材育成～



イタリアのミラノ市で平成27年5月1日から10月31日まで、ミラノ国際博覧会が開催されました。「食」をテーマにしたこの博覧会に本町も参加・出展し、小国町の自然や文化、特産品を世界へ向けて発信しました。博覧会には町長とともに町内の若い農業者や商業関係者が参加・出展したほか、農家レストランを視察するなど、多角的な農業の可能性を探りました。今月は、ミラノ国際博覧会出展の意義と本町の農業を中心とした6次産業化推進の展望について考えます。

ミラノ国際博覧会では、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに、「世界中の人々に、十分に安全で、健康的、適切、持続的な食料を保障することは可能か？」という地球規模の課題が掲げられました。これに対し、日本館が掲げたテーマは「Harmonious Diversity - 共存する多様性 -」です。日本の農林水産業、食にまつわる様々な取り組みのほか、平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された和食をはじめとする食や食文化が紹介されました。そして、そこに詰め込まれた知恵や技が、人類共通の課題解決に貢献するとともに、多様で持続可能な未来の共生社会を切り拓いていくものである、とのメッセージが発信されました。

山形県が国際博覧会に県として参加したのは今回が初めてのことで、10月9、10日は日本館で県の出展行事『農業県やまがた』からヘルシー&豊穣、幸せな田舎生活の提案』が開催されました。新たな市場として有望なヨーロッパに向け、将来の輸出拡大と

イベントスペース Event Space



展示を行うイベントスペースでは、つる細工やたかきびうどん、ナメコの缶詰のほか、町のパンフレット（英語版）及びポストカードを設置しました。多くのかたが品物を手に取るなか、現地ガイドを通じて積極的に説明を行いました。

観光誘客への端緒とするため、県の農産物や加工食品、美しい自然や観光などをPRしました。

町は、山形県とともにこのイベントに参加・出展し、町の自然や文化、特産品について、「やまがた」の中の「おぐに」の存在価値を高め、今後の農業・観光政策の長期展

望に向けたきっかけづくりとなるようPRしました。併せて町内若手農業者の人材育成を図ることを目的として、さらに、今後の6次産業化促進の足掛かりになるよう、これからの町の農業振興・観光振興に活躍が期待される農業者4人と、町長及び町職員2人の計7人が参加しました。

町のPR活動

町は、『山の暮らしと食文化』〜雑穀ときのこ〜をテーマに、町の紹介となめこおろしたかきびうどんの試食、つる細工などの展示を行いました。特に、県内市町村としては唯一の自治体PRコーナーのイベント枠が設けられ「やまがた」の中の「おぐに」を、映像や特産品の配布、試食を通して発信しました。

現地でPR活動の指揮をとった町産業振興課農林振興室の磯部室長は、「出展では、言葉が通じない中でいかに伝えるかが課題でしたが、言葉以外の、見る（映像）、触れる

今後の足掛かりに

（品物を手に取る）、食べる（試食）ことに重点をおいたステージイベントを展開することで、町や特産品に強く興味を持つていただけたと感じています。

また、国際博覧会場での商取引は禁止されているため販売はできませんでしたが、品物はどこで買えるのか、などの問合せが多く、たかきびうどんやナメコ、つる細工がヨーロッパにおいても十分に価値を認めてもらえるものと感じることができました」と話していました。

食品の輸出については品目ごとに厳しい規制があり、課題が多く見られましたが、今回の経験をもとに、これらの商品を町の魅力のひとつとしてPRし、国内外からの誘客に向けた活用の展開が期待できます。

出展のほか、10月9日夜にミラノ市内のレストランで県知事主催の交流会が行われました。今後の海外展開のきつ

ステージイベント Stage Event

10月10日の午前と午後の2回、各45分間のステージイベントを行いました。3部構成とし、白い森の国「おぐに」、つる細工、たかきびうどんやナメコなどの特産品について、映像を中心に組み立てながら紹介し、観光パンフレットの配布やねこじゃらしストラップ（マタタビ細工）の配布、なめこおろしたかきびうどんの試食を行いました。出演者が映像で紹介される場面で本人がステージに登壇し手を振ると大きな拍手で迎えられ、また、ストラップと試食は瞬く間になくなる盛況ぶりでした。



特集 ミラノ国際博覧会 ～6次産業化に向けた新たな事業展開と人材育成～

現地視察で訪れた農家では、自ら栽培した餌で、しかもストレスの少ない環境でウシやブタを育てていました。私も、安心できる餌を栽培し、健康的な地鶏を育てたいと思いました。

また、食事についても学ぶことが多くありました。例えば、日本では素材の良さを引き出す調理法が基本ですが、イタリアでは食材のなかで苦いもの、甘いもの、酸っぱいものなどを数種類組み合わせることで違う味を作り、美味しいと感じるよう調理されていました。他にも、リゾットやパスタではあえて少し芯を残し、食べている間に芯にも熱が入り、食べ終わるまでに少しずつ食感が変化するようにされていました。これまでそうした方法で調理したことが無かったので、ぜひ小国の食材で挑戦し、新しい料理を作りたいです。



横山拓さん (小玉川)
民宿奥川入

今回、ミラノで事業を行っている日本人のかたや、個人的に小国を気に入ってくださって「小国に行きたい」と話してくださるかたと縁を持つことができました。今後、新たな展開に広がっていきたいと思っています。

視察した農場では、ブタと、餌用のトウモロコシ畑をセットにして、トウモロコシを刈ったところに、翌年はブタを放していました。すると、根っ子などはブタが食べ、糞が肥料になり、その次の年にまたトウモロコシを植えることができます。とても労力が少なく効率の良い循環型農業です。こうした、地域に長く根付いている方法は理にかなっているもので、私たちも大切にしていきたいと思います。



小国町ミラノ国際博覧会
出展実行委員長
山口ひとみさん (大石沢)
旬彩工房

12月11日にはミラノ国際博覧会出展報告会をショッピン

6次産業化に向けて

また、人材育成の一環としてミラノ郊外で多角経営有機農業を営んでいる農家レストランを視察しました。気候や風土など、本町の環境とは異なるものの、農畜産業の考え方やその土地ならではの実践方法、経営スタイルがあり、町からの参加者は、各人が持つ農業基盤等を前提に独自の視点で学んでいました。

かけづくりを主眼に置いた交流会で、地元ミラノ市から農業分野における行政関係者のほか、食品卸売、レストラン、商業、マスコミに関係するかたを招いて開催されました。交流会では、県知事とともに町長が参加し、具体的な食材に関する話や輸出等に関する意見交換が行われました。イタリア食料大学と共同のワークショップなどの提案を受け、実現に向けて検討を進めているところでした。



現地視察 On Site Inupection

農家レストラン「CASCINA CAREMMA」^{カッシーナ カリーマ}。ここでは、畜産（ウシ・ブタ）、水稻栽培、畑栽培を行い、できる限り有機農法を取り入れた生産を行っています。さらにレストラン104席と宿泊用客室16部屋、会議室4部屋を所有し、一方では家畜をハムやサラミにしたり、栽培作物をジャムやオイルにするなどの6次産業化の取り組みも行っています。こうしたグリーンツーリズムのほか、企業の研修の場として利用されることも多いとのこと。また、従業員には周辺の農家や若者を雇い、地域雇用を進めるスタイルで地域に根差した経営を行っています。

視察先は農場とレストランを営んでいましたが、訪れた客が、ウシやブタ、野菜、米などの食材となるものを見て、最後にレストランにたどり着く形になっていました。私は生産者として、美味しく食べてもらうことを考えてきましたが、食べる人に食べ物のことを知ってもらってから食べるというスタイルは考えたことがありませんでした。小国でも山菜などのことを知って楽しんでから食べるということができれば良いと思います。



渡邊拓磨さん（樽口）
きのこのたるまさ

また、その農場には「○と△は隣り同士に植える」といった昔からの言い伝えがあり、これらは野菜と土壌の性質に合った自然な農法で今も守られていました。これを聞き、もっと農業と小国のことを知り、地元の在来作物や言い伝えを振り返ってみることが大切だと思いました。



五十嵐由美子さん（北）
小国いきいき街づくり公社

会場では映像を使って素材の良さや生産者さんを紹介し、商品のことを知ってもらって高い評価をいただきましたが、一方で、これまでの販売や試食の方法を振り返ったとき、雑穀のことや生産者さんのことなど、商品の良さをお客様に伝えきれていなかったと感じました。もっと、雑穀

の良さやうどんにしたことの良さを丁寧に伝え、贈り物として送られたかたにも商品の価値が伝わるようにしていきたいと思いました。さらに、店内の他の商品でも、生産者さんの顔が見えるような工夫をして、地域のかたが店を支えてくださっていることがお客様に伝わる店にしていきたいと思っています。



ミラノ出展報告会の様子

グセセンターアスモで開催し、町内の農業者や商業関係者など約100人に出展の様子を報告しました。博覧会への出展経験から、小国町の資源が自信を持ってヨーロッパにも紹介できるものであることを報告するとともに、これから6次産業化を進めていくに当たり、多角経営農家の視察で得たことをふまえて、関係する多分野の方々が協力していくことが必要であることを確認しました。今回のミラノ国際博覧会への出展を通して、本町の産業振興に対する新たな気運が高まっていることから、今後においても、生産から加工、販売までをつなぎ、6次産業化を推進して参ります。

「アル・ケッチャーノ」奥田政行シェフ

ミラノでは、小国の食材が世界に全く引けをとらないことが分かったと思います。小国も世界のひとつの粒子なので、引け目を感じることはありません。たかきびもきのこも質が良く、滋養に富んでおり、深い山の味を感じました。これが他の地域とは違う、澄んだ空気の小国の食材の強みです。

食材を世界に向けて発信するときに大切なのは、最終的な味付けをする前の段階で加工を止めることです。醤油でもトマトソースでも、何でも味付けができるところの前で加工を止めることで、可能性が広がり、世界への販路も広がります。

小国の食材を広く皆さんに知っていただくためには、パンフレットとインターネットをつなげたツールを上手に利用する工夫が必要です。世界に向けて発信するのなら、英語表記も入れなければなりません。大きな歯車を回す大きな力を、町がサポートすると良いと思います。



奥田政行氏

平成27年第7回
小国町議会定例会

平成27年第7回小国町議会定例会が、12月7日から10日まで開催されました。平成27年度一般会計補正予算など26議案が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

4億4168万9千円を追加

一般会計では、ふるさと納税返礼品経費の追加、スポーツ交流センターの給湯ボイラー入替工事等に要する経費、教育環境等整備基金の設置など、4億4168万9千円を追加することとし、補正後の同会計の予算総額は64億7765万2千円となりました。

■個人番号制度による個人番号カードの交付等について、厳格な本人確認をする必要があることから、顔認証システムを導入するとともに、偽装カードを自動判定するための

機器の整備を行うこととし、所要の経費を措置しました。

■高齢者世帯等の住宅の除雪については、シルバー人材センターに委託し生活援助員を派遣していますが、集中的な降雪時には生活援助員が不足し派遣できないことがあるため、緊急的な場合は生活援助員以外の除雪事業者も実施できることとし、所要の経費を措置しました。

小国町教育環境等整備基金

条例を設定

新小国小学校の建設のため「小国町学校建設基金」を設置していましたが、事業が完了したことから、基金残高を新たな原資に、教育環境の向上を図るための「小国町教育環境等整備基金」を設置しました。

個人番号の利用及び特定個人情報の

提供に関する条例を設定

平成28年1月から行政機関で利用される個人番号について、町が独自に利用する事務に医療給付に係る事務を規定

するとともに、法及び町が定める個人番号の利用事務にかかる特定個人情報について、町及び教育委員会の利用・提供を可能とすることとしました。

道の駅白い森おぐに設置条例

の一部を改正する条例を制定

農林水産省所管の補助事業により整備した地域産業館「あいあい」について、補助事業上の処分制限期間が経過したことから、同館を道の駅「白い森おぐに」の施設群に組み入れることとしました。

公の施設の指定管理者

(指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日)

施設名称	団体名
健康の森横根	おぐに白い森(株)
温水プール	
国民宿舎飯豊梅花皮荘、小国町マタギの里交流センター及び川入荘	おぐに白い森(株)
小国町飯豊山荘	
小国町白い森交流センター及びオートキャンプ場	
横根スキー場	
小国町総合スポーツ公園	
小国町天狗平ロッジ	特定非営利活動法人飯豊朝日を愛する会
小国町金目そばの館	金目そば伝承会
小国町マタギの郷交流館	小玉川地区自然教育圏整備促進協議会
小国町水源の郷交流館	東部地区振興協議会
小国町水源の郷交流広場	
間瀬パーキングエリア休憩所	白い森パーキングエリア峠の茶屋管理運営組合
道の駅「白い森おぐに」及びおぐに地域産業館	(有)白い森よこね特産品直売所

公の施設の指定管理者を指定

平成28年3月で指定管理期間が満了する14の公の施設について、平成28年度以降も指定管理者制度による管理運営を行うこととし、新たに指定管理者を指定しました。

14の施設のうち、「健康の森横根」と「温水プール」の2施設については公募を行い、町選定委員会の審査結果を踏まえ、指定を行いました。「国民宿舎飯豊梅花皮荘」をはじめ、特定団体による選定を行いました。

基本方針1 「おぐに」の魅力を活かした産業振興と“しごと”の創出

小国町特有の豊かな地域資源を存分に活用した、新しい産業づくりや地域資源のブランド化の取り組みを行うほか、農林業や製造業など既存産業の発展支援を図り、就業機会の拡大に結びつけるとともに、産業全体の成長を目指します。

数値目標（成果指標）	現状値（基準値）	目標値
町内事業所従事者数	3,409人（H24）	3,480人（H31）
農林業従事者数	280人（H22）	290人（H31）
町内総生産	30,911百万円（H24）	32,986百万円（H31）

施策の基本方向と具体的な施策の内容

（1）既存産業の継続的な発展支援

製造業をはじめとした既存の産業が、その強化を図り、新たな雇用につなげるための環境づくりを進めていきます。また、農業経営基盤の強化や新規就農対策の推進により、地域営農体制の確立と若い世代の農業経営者の育成を図ります。

→①地元雇用の促進、②農林業経営基盤の強化、③新規就農対策の促進、④工業、製造業の発展と商業の振興

（2）森林資源のさらなる活用と第1次産業の活性化・高度化の推進

町の森林資源の豊かさを活かし、新しい事業展開を目指した仕組みの構築に取り組むとともに、多様な視点を通じた特産品の開発やそのレベルアップなど、6次産業化の推進強化に努めます。

→①特産林産物の発展と産地化、②6次産業化の推進

（3）各分野の連携・協働による地域資源のブランド化の促進

「白い森の国おぐに」のブランド化を推進、確立し、町そのものの付加価値を高めながら、特産品の販売拡大、イベントの参加拡大、さらに小国の暮らしを素材とした交流促進などにつなげていきます。

→①地域ブランドの確立、②農商工等連携の仕組み構築

（4）環境保全や健康など新たな価値を生み出す産業づくり

豊富な森林資源や社会文化資源に着目し、再生可能エネルギーの一層の活用促進を図るとともに、保養、医療・福祉分野と食・農業との連携による健康長寿型産業など、新たな価値や特長を生み出す産業づくりに向けた育成、支援に取り組めます。

→①再生可能エネルギーの利用促進、②医福食農連携を含めた健康長寿型産業の創出

（5）多様な生き方の創出と企業・創業支援

一人ひとりの能力や技術を発揮できる、多様な仕事の組み合わせを可能とする仕組みを構築し、新たな企業・創業の促進を図ります。

→①新たなワークスタイルの創出、②企業・創業に対する支援

施策の基本方向	数値目標（成果指標）	現状値（基準値）	重要業績評価指標（KPI）
（1）既存産業の継続的な発展支援	新規事業所立地件数（年間）	1件（H26）	2件（H31）
	多面的機能活動団体数	21団体（H27）	25団体（H31）
	新規就農者数（年間）	4人（H26）	5人（H31）
	製造業出荷額（年間）	29,334,580千円（H24）	33,075,000千円（H31）
（2）森林資源のさらなる活用と第1次産業の活性化・高度化の推進	特産林産物出荷量（年間）	368トン（H25）	400トン（H31）
	新たな特産品商品化数	—	5件（H31）
（3）各分野の連携・協働による地域資源ブランド化の促進	「白い森おぐにブランド」認定件数	—	10件（H31）
	農商工等連携団体数	1団体（H27）	5団体（H31）
（4）環境保全や健康など新たな価値を生み出す産業づくり	公共施設の再エネ利用数	8件（H27）	12件（H31）
	新たな健康産業関連事業所数	—	2件（H31）
（5）多様な働き方の創出と企業・創業支援	新たな働き方の組み合わせ数	—	5件（H31）
	起業化支援補助金活用件数（年間）	2件（H27）	3件（H31）

施策効果の検証を行うため、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を定め、効果検証を的確に進めると同時に継続的な改善につなげます。

平成27年度 町民の活躍を祝う会

12月13日、町民の活躍を祝う会を松風館で開催し、本町の振興発展に貢献し、各種叙勲・大臣表彰等を受けられた方々12人1団体を祝しました。受章者は次のとおりです。

叙位・叙勲 従六位・旭日双光章
齋藤 勇市氏（北）
叙勲 旭日双光章
小野 精一氏（新股）
叙勲 瑞宝双光章
舟山 壽一氏（増岡）
叙勲 旭日单光章
山口 英彦氏（荒沢）
叙勲 瑞宝单光章
東 正明氏（小国小坂町）
社会福祉功労者厚生労働大臣表彰
鈴木 桂樹氏（小国小坂町）
教科書供給功労者文部科学大臣表彰
加藤 美恵子氏（小国小坂町）
小国町功績章
小池 克敏氏（白子沢）
全日本交通安全協会会長表彰
交通栄誉章「緑十字銅賞」
東海林 テイ子氏（幸町）



受賞者代表あいさつをする舟山壽一氏

山形県戦没者遺族援護功労者
山形県知事感謝状
舟山 正之氏（玉川中里）
山形県ベストアグリ賞
大谷 健一氏（西）
山形県教育功労者表彰
遠藤 啓司氏（大宮）
子どもの読書活動優秀実践団体
文部科学大臣表彰
トライあんぐる

調理業務補助員を募集

- 業務内容 療食に係る調理業務補助
- 募集人員 若干名
- 雇用期間 採用日から平成28年3月31日まで
- 雇用形態 日勤 9:20~17:50
- 雇用条件 性別、学歴、年齢、資格は不問。
ただし、調理師免許などを有していれば優遇します。
- 賃 金 自給750円~850円
※経験・資格・年齢により決定
- 募集期間 募集人員を満たすまで
- 採用試験 面接のみ
※応募があった日に詳細を連絡
- 提出書類 小国町日々雇用職員登録申請書
- 問 合 先 介護老人保健施設 温身の郷
(☎61-1200) へ

災害時応援協定締結式

12月1日、全国霊柩（れいきゅう）自動車協会（一柳鍾（はじめ）会長）および全日本冠婚葬祭互助協会（齋藤斎会長）と町は、災害時応援協定を締結しました。今回の協定締結により、大規模な自然災害などで多数の死亡者が発生した際、遺体収容や搬送、安置のほか、これに要する物資の提供など、より適切で迅速な対応が期待できます。



全国霊柩自動車協会山形県支部支部長（左）と町長

鈴木桂樹さん 厚生労働大臣表彰



民生委員児童委員の鈴木桂樹さん（小国小坂町）が、

全国社会福祉大会において、社会福祉功労厚生労働大臣表彰を受賞しました。

鈴木さんは昭和55年以来、34年11か月の永きにわたり民生委員児童委員として住民に寄り添いよき相談役として献身的に活動され、地域福祉の充実と向上に尽力してきたことが評価されました。

柳沢悟さん 置賜地域農林水産業若者賞



置賜地域農林水産業若者賞の授賞式が置賜総合支庁で開催され、柳沢悟さん（伊佐領）

が受賞しました。この賞は農林水産業分野の振興発展に自主的かつ積極的に取り組む若者に贈られるものです。

柳沢さんは、白炭製造における高い技術力や、集落内の遊休農地を使った有機農業の実践などの活動により、地域の活性化に貢献していることが認められての受賞となりました。



新年を迎えて

小国町長
盛田 信明

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

いま、我が国では緩やかな景気回復基調にあり、地方経済においても景況感の底固さや雇用・所得環境の改善が設備投資や個人消費に波及しつつありますが、人口減少と少子高齢化の進展が地域経済の縮小傾向を招くなど、地域間格差の拡大が懸念される状況にあります。

本町においては、一部事業所において景気回復の傾向にあるものの、総じて依然厳しい環境下にあります。こうしたなか、今後一層進行する人口減少・少子高齢化への確実な対応を目指した施策を戦略的・体系的に展開していくことが求められます。

今年は申（さる）年。大変縁起が良い年です。「申」は「伸」の元となった字で、物事がぐんぐ

ん伸びていくことを示しています。今年は、「第4次小国町総合計画」及び、昨年10月に策定いたしました「小国町地域創生総合戦略」に基づき、豊かな自然とともに暮らしてきた人々の文化と生活技術を大切にしながら、「おぐに」の魅力を活かした農・商・工一体の産業振興を重点施策に据え、既存産業の連携や雇用の場の創出はもとより、世界に誇りうる本町の資源や宝を効果的に活用した観光振興を図り、交流人口の拡大に努めてまいります。さらには教育振興と子育て世代への的確な支援を進めていくとともに、高齢者の多様な居住環境の整備を図り、防災機能の向上や地域同士の連携・協働による安心・安全な暮らしの実現など、各種施策に取り組んでまいります。

今後も「町民主役のまちづくり」の基本理念のもと、町民の皆さまの英知を集結し一丸となって、「選んでもらえる地域づくり」を全力で進めてまいります。

町民皆さんのまちづくりに対する一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さんがたにとりまして幸せの多い年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。



活動の成果を堂々と発表 ～小国高等学校活動報告会～



小国高等学校の活動報告会が11月27日におぐに開発総合センターで開催され、保護者や高校関係者など町民約70人が参加しました。アメリカ短期留学や英語弁論大会、山形大学工学部と連携した研究活動など7つの活動について、生徒たち45人が報告しました。

1年生の地域文化化学の授業で2班（山形大学名誉教授尾形健明氏指導）が行った「小国産ヤマウコギのポリフェノール分析」では、実験結果から、ウコギ科の山菜のうちヤマウコ

ギが群を抜いてポリフェノールを多く含むことを明らかにし、健康食品としてのヤマウコギの可能性を示しました。

生徒たちの堂々とした頼もしい姿に、来場者から大きな拍手が送られていました。

起業を成功させるために ～地域起業セミナー＆相談会～

地域起業セミナーが、11月29日、白い森ショッピングセンターアスモで開催されました。起業を考えているかたを対象に町が初めて開催したもので、約20人が参加しました。

セミナーでは、山形県企業振興公社創業支援アドバイザー佐藤修氏の「起業のポイントー心構えから成功・失敗事例ー」と題した講演と、アドバイザーから指導を受ける個別相談会が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。



明るい福祉社会を目指して ～ふれ愛募金贈呈式～



12月1日、健康管理センターで第16回ふれ愛募金贈呈式が行われ、地域活動支援センター「みらい」（本間義信施設長）に募金8万5千円が贈呈されました。これは、東北労働金庫（高橋壽理事長）の「ふれ愛預金」の利子の一部が預金者からの募金として提供され、同金庫からの拠出金と合わせて福祉施設などに寄付されるものです。「みらい」では障がい者同士の交流促進などに取り組んでおり、本間施設長は「障害のあるかたが元気で過ごしていけるよう、尽力したい」と感謝の言葉を話されました。

きれいな環境で、気持ちよく ～「小さな親切」実行章受章～



小国開発(株)が「小さな親切」実行章を受章し、12月1日に同社で伝達式が行われました。これは、公益社団法人「小さな親切」運動本部（鈴木恒夫代表）が、環境美化活動や社会奉仕活動、困っている人への援助など、親切な行動を行った個人や団体を表章し、感謝の意を表そうと実施しているものです。

同社社員が毎朝30分程度、会社周辺の道路や歩道のゴミ拾いなど、清掃活動を自発的に実施しており、環境美化に貢献していることから、受章者に選ばれました。

女性ならではの活動を ～女性消防団員高齢者世帯訪問～

女性消防団員による高齢者世帯訪問が、11月29日に金目地区で行われ、女性消防団員7人と消防署小国分署職員、児童民生委員の、計10人で7世帯を訪問しました。これは、小国町消防団の女性団員が新たに始めた活動で、暖房器具を使い始めるこの季節に、火災予防を呼びかけました。ストーブの上の洗濯物の有無や、火災報知器の設置場所などを確認し、必要に応じて火災報知器の電池交換を行いました。訪問先のかたからは、「寒い中、来てくれてありがとう」と声をかけられていました。



緑のふるさと協力隊 窪田 ともなり 智成



「もちの市に参加して」

木々の葉も落ちて、白い山が冬の訪れを感じさせるようになってきました。

12月8、15、22日は、農業振興公社が行うもちの市に売り子として参加しました。小国の食材を使った最高の餅が売られています。餅と言ってもたくさんの種類があるので、お客さんも楽しそうに選んでおられました。買いに来た方々に「もちの市が開くのを楽しみにしていた」と言われ、地域の皆さんがもちの市の開催を心待ちにしているのだと感じました。地域にしっかりと根付いているんですね。地域のものを地域で消費する機会を実際に見ることができてとても良かったです。

これから本格的な冬になります。慣れない自動車運転で事故を起こさないように気をつけて活動に取り組んでいきたいと思います。

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅あけぼの団地》

3DK 1戸(2階)

2DK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《小坂町勤労者住宅》

2DK 3戸(1、2、3階)

■家賃 38000円

2K 1戸(2階)

■家賃 33000円

■対象 町内の事業所にお勤

めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 1月13日(水)

■入居時期 1月下旬以降

■問合先 地域整備課建設管

理室 (☎62・2431)へ

置賜広域行政事務組合
指名競争入札参加登録申請

(追加申請)の受付

平成27・28年度に行う①建設工事、および②測量・建設コンサルタント業務等、平成26・27・28年度に行う③物品

納入・役務提供の追加登録申請を受け付けます。

■受付期間

①②2月1日(月)～2月19日(金)

③1月13日(水)～2月3日(水)

■申請・問合先 置賜広域

行政事務組合事務局(☎

0238・26・7488)へ

※申請書類等 詳細は申請先

ホームページをご覧ください。

河川の支障木を

利用しませんか?

河川管理上支障となる樹木の伐採協力者を募集します。県が指定する条件悪地での支障木の伐採・利用については、経費の一部を補助します。詳細は、山形県ホームページ(地域情報/置賜総合支庁/総合支庁からのお知らせ)をご覧ください。

■対象者

自ら支障木を伐採・利用する

かた(団体・企業など)

■対象河川

荒川(小国町驚地内)、置

賜野川(長井市平山地内)

■申込期限 1月29日(金)

■問合先 置賜総合支庁西置

ご案内

家畜の定期報告を忘れずに

次の動物を1頭1羽でも所有するかたは、2月1日現在の頭数等を報告してください。

■対象

牛、鹿、めん羊、山羊、豚、

いのしし、馬、鶏、うずら、

あひる、きじ、だちょう等

※ペット、学校や公園での飼育も含みます

賜河川砂防課ダム管理担当
(0238・88・8246)へ

LPガス雪害事故が増えています！ 雪害事故にご注意を！

冬季の落雪などによるLPガス事故件数は平成23年度から急増しており、その約半数は東北地方に集中しています。生命にかかわる重大事故を未然に防止するため、雪下ろしや除雪の際は、LPガス設備に衝撃を与えないよう、ご注意ください。

- ・屋根からの落雪による損傷
 - ・雪下ろし・除雪による損傷
- (隣宅のガス設備にも注意)

＜お願い＞

緊急時に容器バルブを閉止できるように、ガス設備の周りを除雪しておきましょう。



町内の空間放射線量測定をお休みします

冬期間は積雪により空間放射線量の正しい数値が測定できないため、12月か雪解けまでの期間、空間放射線量測定を休止します。

■報告方法 前年に報告されたかたは、1月末に報告用紙が送付されます。(飼育しているのに報告用紙が届かないかたは、ご連絡ください)

■問合先 置賜家畜保健衛生所

(☎0238・43・3217)へ



※日程が変更になる場合は、アスモ掲示板でお知らせします。

1月の保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 1月22日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 平成27年9月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 1月22日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 平成27年1月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

♪あそびの広場♪

- 日 時 1月5日、12日、19日(子育て講座)、26日 午前9時30分～11時30分
- 対象者 入園前のお子さんとお家のかた

♪赤ちゃん広場♪

- 日 時 1月14日、28日 午後1時～3時30分
- 対象者 生後4カ月から18カ月のお子さんとお家のかた

♪なかよし広場♪

- 日 時 【毎週月曜日・木曜日】 午前9時30分～11時30分 午後1時～3時30分 ※第2、4木曜日の午後はお休みとなります。
- 【毎週火曜日】 午後1時～3時30分
- 対象者 入園前のお子さんとお家のかた

♪ゆきんこ広場♪

- 日 時 毎週水曜日・金曜日 午後1時～3時30分 ※1月22日(金)はブックススタートのためお休みとなります。
- 対象者 入園前のお子さんとお家のかた



1月8日 町民総合体育館 全面オープン!

☆施設見学会開催☆ 1月8日(金) 午前9時～正午

参加者には抽選で30人におぐに開発総合センターの「二の宮の湯」入湯券をプレゼントします。また、NPO法人おぐにスポーツクラブYui主催のスポーツ体験会やお茶菓の振舞いがあります。

■問合先 教育委員会 (☎62-2141) へ

求 人 情 報

右の表は12月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
置賜総合支庁西庁舎	(臨) 事務補助員	1人	8:30～17:15
(株) 山 芳 工 務 店	建築・機械設計	3人	9:00～18:00
	建築・機械設計 (トライアル雇用併用求人)	3人	9:00～18:00
長 谷 川 工 業 (株)	マシン・オペレーター	3人	8:30～17:00他
(有) 東 部 開 発	農作業員	1人	8:00～17:00
(有)横川自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:30～17:30
ハ イ コ ー (株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00～17:00
山 和 建 設 (株)	一級土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00～17:00
ひ さ ぶ 電 材 (株) 小 国 工 場	電線のアッセンブリー(端子加工・半田加工・他)及び検査	2人	8:30～17:30
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員	1人	9:00～13:00他

※先月号掲載分以降に新規に登録された求人を掲載しています。

☆町ホームページでは、求人情報のほか、職業訓練情報、仕事に関する相談・講習会などについてお知らせしています。ご活用ください。

(町ホームページアドレス: <http://www.town.oguni.yamagata.jp/>)

今月の納税 2016.1

1月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●1月26日(火) 水道料

●2月1日(月)

国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室 (62-2403) へ

小国町競争入札参加資格審査 申請を受け付けます

小国町が行う建設工事、測量・建設コンサルタント、物品、役務の競争入札に参加を希望する町内業者のかたは、次のとおり申請してください。

- 受付期間 2月1日(月)～29日(月)
- 受付時間 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 有効期間 平成28年度（町内業者のみ受付）
- 申請方法 必要書類などの詳細については、電話または町のホームページでご確認ください。
- 受付場所・問合先 地域整備課建設管理室へ

平成28年度みどり環境公募事業 を募集します

県民参加による森づくり活動を募集します。

- 支援する活動内容
 - (1) 一般助成 ①森林・自然環境学習②自然環境の保全活動③豊かな森づくり活動④森林資源の利活用
 - (2) テーマ助成 ①森づくりと一体となった木質バイオマスの利活用②里山資源の活用と交流③暮らしの中に木を使う
- 募集期間 1月4日(月)～2月8日(月)まで
- 問合先 産業振興課または置賜総合支庁森林整備課 森づくり推進室（☎0238-35-9053）へ

平成28・29年度 国有林モニター募集

東北森林管理局では、国有林の管理・経営に国民の皆様の声役立てていくため、「国有林モニター」を募集しています。

- 募集人数 48人程度
- 内 容 アンケートへの回答、現地見学会・国有林モニター会議への出席など
- 任 期 2年間（平成28年4月～平成30年3月）
- 募集期間 1月29日(金)まで（当日消印有効）
- その他 応募資格、応募方法など、詳しくは東北森林管理局ホームページをご覧ください。
- 問合先 東北森林管理局企画調整課林政推進係（☎018-836-2228）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

	休館日	毎週月曜日・祝日
◇「だから、生きる」	つ ん く	
◇だれもが知ってる小さな国	有 川	浩
◇北天に楽土あり	天 野	純 希
◇けもの道の歩き方	千 松	信 也
◇夜の写本師	乾 石	智 子

相 談

▽年金相談

- 日 時 1月20日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

- 日 時 1月20日(水)
10:00～12:00
- 場 所 健康管理センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

- 日 時 1月23日(土)
10:00～15:00
- 場 所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

▽行政相談

- 日 時 2月6日(土)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
- 問合先 町民税務課住民窓口担当へ

110番をかけるときのお願い

110番をかけると…

係員が必要なことを訪ねますので、落ち着いて教えてください。
 素早い110番が犯人摘発につながります。

「110番の日」イベント

- 開催日 1月8日(金)
 - 時 間 午後3時から
 - 場 所 ショッピングセンター アスモ
- 是非ご参加ください。
 小国警察署（☎62-0110）





- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 農林振興室 ☎62-2408
- 建設管理室 ☎62-2431
- 政策企画室・地域振興室 ☎62-2264
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 建設技術室 ☎62-2432
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 議会事務局 ☎62-2448

1月の あいベイベント ドッジボール教室



- 日時 1月24日(日) 午前9時から
- 対象 小学生以上
- 持ち物 飲み物など
- 参加費 1人50円(保険料込)
- 申込締切 1月22日(金)正午
- 申込・問合せ
(☎87-0080)

おぐにYui
スポーツクラブ

平成28年4月1日より 直接搬入のごみ処理手数料が変わります

ごみ処理施設の老朽化に伴い維持補修費等の経費が増加していることから、平成28年4月1日より千代田クリーンセンター、長井クリーンセンター、小国中継施設(リレーセンター)に直接ごみを搬入する場合のごみ処理手数料を下記のとおり改正します。

【改正内容】

(千代田クリーンセンター
長井クリーンセンター
小国中継施設(リレーセンター)
に直接搬入する場合のごみ処理手数料
(事業系ごみ含)



改正前 10kgあたり 改正後
150円 ⇒ 180円

指定ごみ袋の価格に変更はありません。

※改正に伴い、3月はごみ搬入が混み合うことが予想されますので、ご家庭から出る少量のごみは、お住まいの地区のごみ収集場をご利用ください。

■問合せ

千代田クリーンセンター (☎0238-57-4004)
長井クリーンセンター (☎0238-84-6911)

はじめての つる細工教室

ヤマブドウのつるを編んで
簡単な小物入れを作ります♪

- 日時 1月23日(土) 9:30~15:00
- 場所 おぐに開発総合センター 1階
- 定員 20名(小学生以上。初心者歓迎)
- 参加費 1,500円(材料代、昼食代、保険料など)
- 申込締切 1月19日(火)
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
(☎/FAX 62-5955) または
(E-mail kokohorewanwan@opal.plala.or.jp) へ

平成27年度 小国町スポーツ講演会

- 開催期日 1月30日(土)
- 時間 受付 13:40~
講演 14:10~16:00
- 場所 総合センター
- 講師 山形県立山形中央高等学校教諭
野球部監督 庄司 秀幸氏
演題「スポーツを通じての人づくり」
- 申込締切 1月21日(木)
- 申込・問合せ先 教育委員会事務局へ

町民登山 白太郎山トレッキング

かんじきをはいて真冬の雪山へチャレンジ!

- 日時 2月6日(土) 集合7:00, 解散15:30頃
- 集合解散 白い森交流センターりふれ
- 場所 白太郎山(徳網, 標高1,003m)
- 定員 40人(町内外の登山愛好者、雪山登山経験者)
- 参加費 1,500円(保険料など)
- 申込締切 1月31日(日)
- 申込・問合せ先 小国山岳会 高橋弘之
(☎/FAX 62-3898)
(E-mail opty@ic-net.or.jp) へ

入札結果情報 (平成27年11月21日~平成27年12月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H27.12.11	平成27年度社会資本整備総合交付金事業 町道片貝線片貝沢橋橋梁補修設計業務委託	片貝	H28.2.29	2,580,000	大日本コンサル タント(株) 山形営業所	2,500,000
H27.12.11	平成27年度社会資本整備総合交付金事業 町道樽口足水中里線雪崩予防施設詳細設計 業務委託	樽口	H28.2.29	1,969,000	(株)ケンコン	1,900,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

(11 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

兵庫 舘 高 橋 かな (憲 司
涼 子

結婚おめでとうございます。

(愛 知 県 與 島 克 義
宮 の 台 高 井 聡 恵

おくやみ申し上げます。

増 岡 渡 部 昭 七 (84)

伊 佐 領 齋 藤 り ん (98)

新 股 小 野 はるよ (91)

あけぼの 舟 山 義 明 (82)

小国小坂町 菅 信 雄 (65)

北 佐 貝 一 雄 (85)

小 股 佐 藤 テ ツ (91)

沼 沢 櫻 井 壽 (83)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成27年11月30日現在)

人口 男・・・3,988 人 (－ 7)
女・・・4,144 人 (－ 4)
計・・・8,132 人 (－ 11)
世帯数 3,109 世帯 (－ 5)

編集後記

お正月といえ、お雑煮です。出汁や具の種類、切り方など、地域性はもちろん、それぞれの家庭で少しずつ異なるところに作り手のこだわりが見えて、面白いですよね。家族だけで過ごす年に一度の行事だからこそ、多様性に富んだ文化として代々家に伝わっているのだと思います。

昨年は多くのかたにご教授いただき、大変ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(蛇原)

おぐにの手仕事

シリーズ⑨

マスのスシ

齋藤 美代枝 さん

五味沢在住



マスのスシというと、各家庭で入れる材料や分量が違い、味は様々です。生臭さが苦手な方もいると思いますが、今回は、生臭さが無く、約2週間で食べられる、シンプルなマスのスシの作り方を齋藤美代枝さんに教えていただきました。

「新鮮なマスが手に入ったら、まずは5センチくらいの幅の切り身にして、一晩酢に漬けて寝かせる。きちんと漬かっていれば火を通したような色になる。これで生臭さが取れるし、早く漬かる。翌日になったら酢を捨て、私の場合は軽く水で洗う。次に、炊いたご飯を水で洗い、ぬめりを取る。ご飯に塩と山椒の葉を混ぜ、食べてみて美味しいな、と感じるくらいの塩加減にする。今年のように冬が暖かいときは、マスにも少し塩を降しておく。それから、ササの葉を準備しておく。樽には、ごはんをマスをはさむように層を作って並べ(下図参照)、上にしっかり重石を乗せて締める。食べるときは上から一段ずつ取って、常に平らになるようにする。寒い部屋で保管して、冷凍すると味が変わるから、春の暖かくなってくる前に食べてしまった方がいい。今は“マスのスシ”と言うけれど、50年以上前まではスシと言えばロウソクホッケ(1歳になったホッケ)ばかりだった。それが、マスでも美味しく作れるというので自然にマスに代わっていったのだと思う。今ではロウソクホッケは手に入らなくなってしまった。以前はカジカやイワナでも作って、冬に限らず夏にも作っていた憶えがある」

マスの重ね順



ごはん
マス
ごはん
...ササ...
ごはん
マス
ごはん
マス
ごはん

マスは必ずごはんではさみ、2段並べたらササを並べます。これを繰り返します。